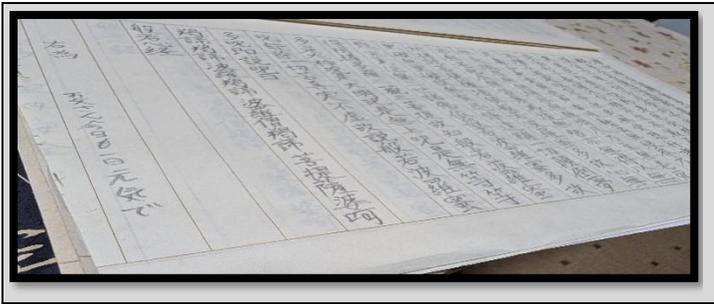


東光寺たより 22

写経の功德を願う♪

先日、篤信の檀家さんから写経の奉納が有りもう何十年もかけて書かれている事を拝見しました。写経の功德はお父さんが今日1日を無事に過ごせれるようにと書かれてみえて願わくは同じように念じたのでありました。

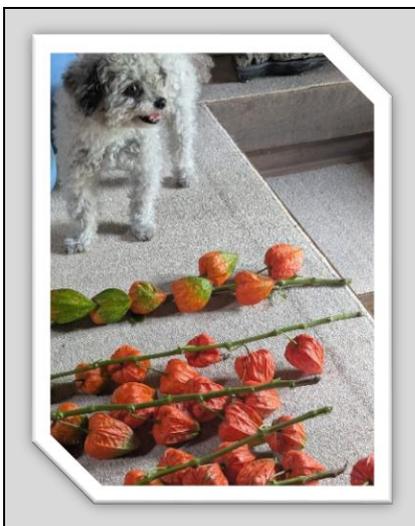
写経の功德が廻らん事を...



ほおずきを供養だワン♪

このところ暑い日が続きますなあ♪ そうこうしてたら近所の和尚さんがだいたい色の華を持ってきて下れてボクも眺めます。立派な華なんだな。隆和尚はこれを見るとお盆だなとしみじみ言うてたな。ボクも正念場なと思いました。

和尚さん♪ 難有うございました。



先輩和尚のお話を拝聴しました♪

近所のお寺の施餓鬼の後に法話を聞く機会がございました。先輩のお寺さんのお話を拝聴してまいりました。分かりやすく先祖の難有さを説いて下さり、何故に位牌の裏の享年には数えで、所謂1年多く記載するかを説いて下さいました。母親が11か月弱の期間お腹の中で自分を育ててくれた分も増やして書いているのだよ。だから難有いのですよと。大事な事だと更に思うようになりました。



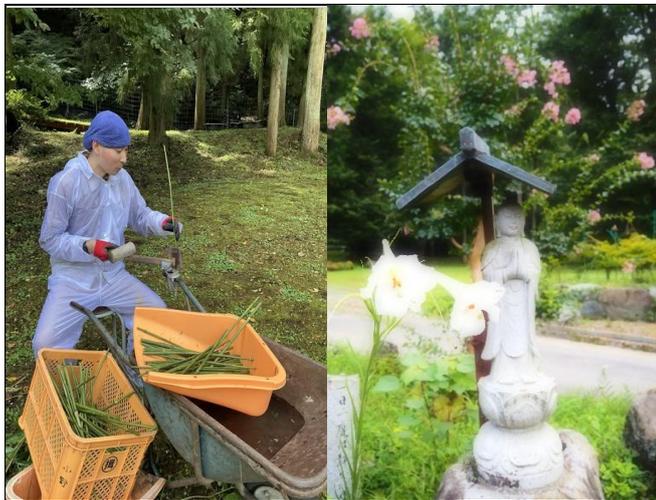
百合が咲いたんだ♪

ボクがお寺にやってきて初めての夏を迎え、境内のあちこちに白い華が咲いてるんだ。綺麗な華だよお。思わず見とれるボクです♪ この華はお墓へと供える事しようとして隆和尚が言うてたなあ。ボクもお盆に向けて頑張るのであります。



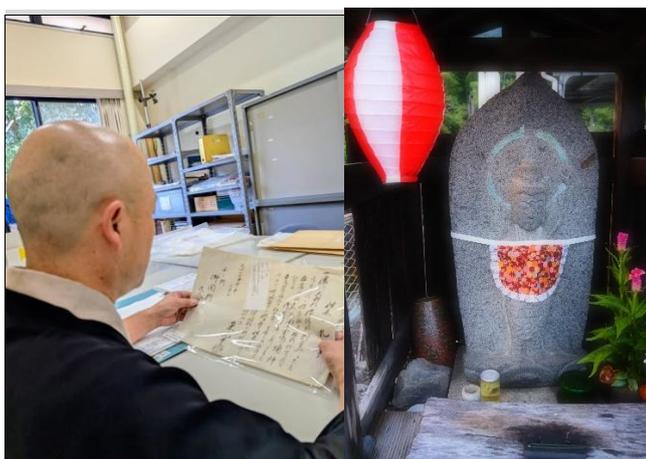
施餓鬼の旗を制作しました♪

当山の副住職には、ここ数年施餓鬼の旗を作る仕事を任せております。手際よく竹を切り出して持ちやすい長さにカットしつつ、先端に切れ込みを入れます。ですが当日は土砂降りの豪雨でしたが何するものぞという気概でこなしておりたくましくなったと思いました。



古文書に触れるイットキ♪

遠方の檀家さんより自身の御先祖さんが古文書を保管されており此度地元揖斐の歴史民俗史料館へ古文書数点を寄贈されたと連絡が有りました。これをぜひとも拜見しない手は無いという訳で行ってまいり学芸員さんから説明を聞きました。当山の名前が入ったこの古文書は所謂通行手形でありましょうか…巡礼の旅に出かける際の往来をスムーズにしてやってほしいと当時の当山の和尚が一筆書いたのをまじかに拜見しまして、当時のお寺の信用度を窺い知る事が出来ました。貴重な古文書を拜見しつつ悠久の時の流れを少しだけ感じる事が出来ました。



80年越しの邂逅♪

地元の歴史民俗史料館での特別コーナーにおきましてお寺の梵鐘をとある理由の為に供出せねばならぬ事案があり、その様子が展示されてました。当山もこれに応じて供出した時がございました。時に昭和17年。その際これを記念した法要が務まった画に小生によく似た和尚さんが写っていました。あちらの和尚さんも80年以上経って、こうやって現当山住職に会うとは思ってもよらなかったでしょうね。最後にお寺にとって梵鐘は時を知らずのみならず大事な道を求めるツールですので2度と供出という運命を辿らせないようにせねばと思いました。



施餓鬼及び盆を迎えて♪

今年も施餓鬼を迎えるにあたり、大勢の方のお力添えで迎えるのみとなりました。真に御礼の申しようも有りません。只々難有い事だと思わずにいられません。コロナの時も途絶える事なく施餓鬼及びその他の行事も規模を縮小してお勤めするのを余儀なくされた事も有りました。がしかし、その時の想いであったり感じた事が全てが上手く今に繋がっているとは思いません。失敗して恥をかいた事も多々有りました。ですが無心で至心に取り組むのが和尚の本分だと信じて歩んでおります。

よろしくお願ひします♪

文責 “東光寺” 英隆♪